

世界の民話のおもしろさをしようかいいしょうめあて

「世界の民話のおもしろさをしようかいいしょう」の学習をふりかえろう

ためになったこと・生かせそうなこと

- ・カードを作ったあらすじが上手に書けるようになった。
- ・今まで民話を読んだことがなかったけど、たくさん読んだ。
- ・あらすじと感想は、分けて書くことが分かった。
- ・どの民話にもおもしろさがあることがわかった。
- ・友達としようかいい合うと楽しい。 など

読みたくなった本や読んでみた本

- ・さんねん峠
- ・三つのオレンジ
- ・スーホの白い馬

児童のワークシートの記述から、本を選んだ理由を聞きながら、板書するといいです。

学習したこと

場面のうつりかわりと登場人物のようすを考えて読むことができた。

物語のおもしろさを考えながら読むことができた。

紹介する本が読みたくなるようなあらすじを書くことができた。

【9 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート… 活動のねらい

世界の民話に対して関心を高め、友達が紹介した民話の中からを意欲的に読書するようにする。

1 単元全体を振り返って、学習したことについて自己評価をする。

ワークシートで、本単元で学習したことについて自己評価をする。

* 紹介がうまくできなかった児童に対しての支援は、次のような手だてを取ることで紹介する活動になれさせる。

- ・朝の会・帰りの会などで読書紹介を行う機会を設ける。
- ・場面の移り変わりや人物の関係などの読む視点を与える。 など

2 この単元の学習を振り返っての感想を書き、発表する。

学習を通してためになったことなどを振り返らせるようにする。

友達の紹介を聞いて読みたくなった本や読んだ本について紹介し合うことで、さらに読書への意欲が高まるように励ましていく。

【評価】世界の民話など読書に対して関心を高め、友達が紹介した民話の中からを選んで意欲的に読書しようとしている。。。

3 世界の民話の読み聞かせを聞く。

児童が紹介した本の中から一冊を選び、読み聞かせを行うことで、世界の民話への関心がより高まるようにしたい。